

ろくのへ 議会だより

第76号

平成25年4月19日発行

●編集/発行●
青森県六戸町議会

「この道は防災や命を守る道であり、産業を興す道である」

三村申吾県知事があいさつ



第二日の出保育園



上吉田南部駒踊り



「シャモロック鍋」を振る舞う

3月定例会で決めたこと **「新年度予算を可決」**… 2P

予算特別委員会 **「予算はどう使われる？」**… 4P

一般質問 **3名の議員が町政を問う**… 6P

「新年度の重点事業が決まりました」… 9P

●編集/六戸町議会広報委員会

〒039-2392 青森県上北郡六戸町大字犬落瀬字前谷地60 TEL:0176-55-3111(代表) FAX:0176-55-3112
ホームページ <http://www.town.rokunohe.aomori.jp> Eメール gikai@town.rokunohe.aomori.jp

平成25年度予算

地域包括支援センター建設 着手・国保税引き上げ

一般会計・特別会計、総額 83億3,049万円 前年度比1.7% アップ

平成25年3月定例会は3月4日から11日までの8日間の会期で開催しました。町長から提出された案件は、協議議案4件、条例議案14件、予算議案14件、人事案件1件の計33議案を審議し、すべて原案のとおり可決しました。

新年度予算は、予算特別委員会を設置し、一般会計・特別会計を審査、本会議に報告し、すべて可決されました。

また、一般質問には3名の議員が登壇し、理事者側の所信をいただきました。

歳入

25年度の一般会計予算は、46億4800万円の前年度比2.8%増となりました。

自主財源である町税は、前年度比0.5%増の9億2785万円となり、国・県からの地方交付税は前年度の20億4900万円になりました。

また、財政調整基金(貯金)から58.1%増の1億5954万円を繰り入れし、25年度の予算編成となりました。

歳出 主な事業

民生費	
地域包括支援センター建設事業費	9330万円
子ども医療費無料化助成(中学生以下)	2000万円
教育費	
中学校海外交流20周年記念訪問事業	240万円
七百中学校体育館屋根塗装工事ほか	1307万円

総務費	
定住促進新築住宅建設補助	2700万円
若者定住支援事業補助	760万円
住宅用太陽光発電システム導入支援事業補助	320万円

農林水産業費	
斑点米カメムシ防除対策事業補助	700万円
にんにくウイルスフリー種子購入助成事業補助	350万円

衛生費	
浄化槽設置整備費補助	2189万円
浄化槽推進事業補助	1960万円

土木費	
館野団地新築工事ほか	8790万円



町長 吉田 豊

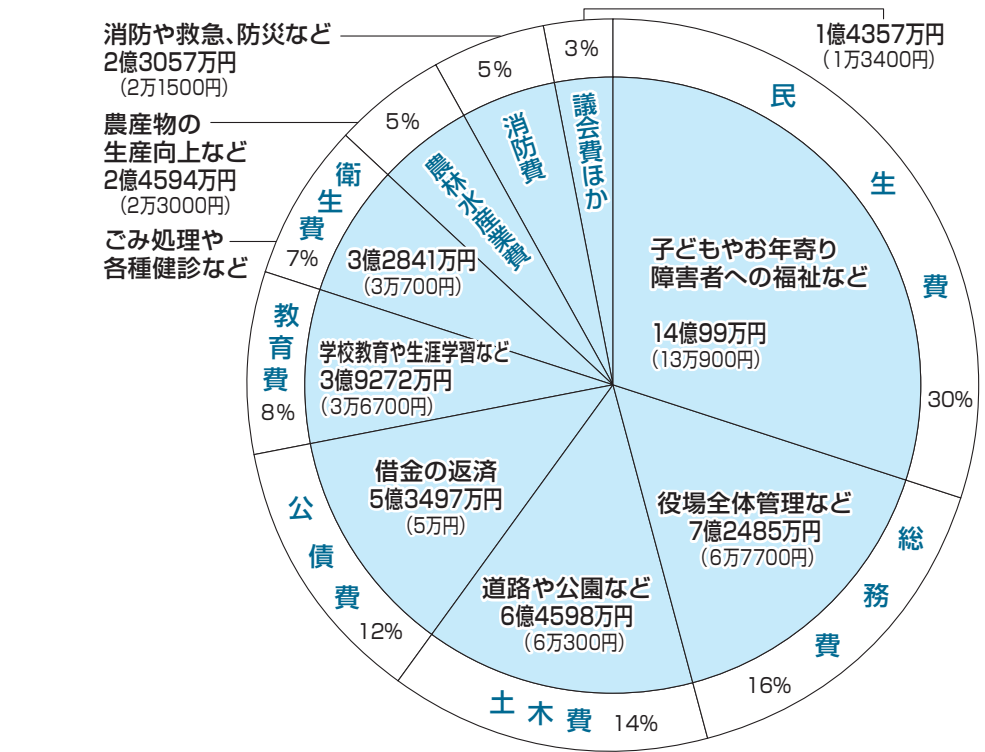
町政運営方針と25年度予算説明

当町は行財政運営の効率化を積極的に行い「強い財政基盤」を確立して、地域の特性や実情を踏まえた質の高い行政サービスを継続的かつ安定的に提供していくため、不断の取り組みを努めてきました。こうした取り組み

を今後も継続し、将来に負の遺産を残さない堅実な行財政運営が求められています。基本的な自治体として、町民の安全・安心を確保し、不安を解消する取り組みを積極的に推進します。

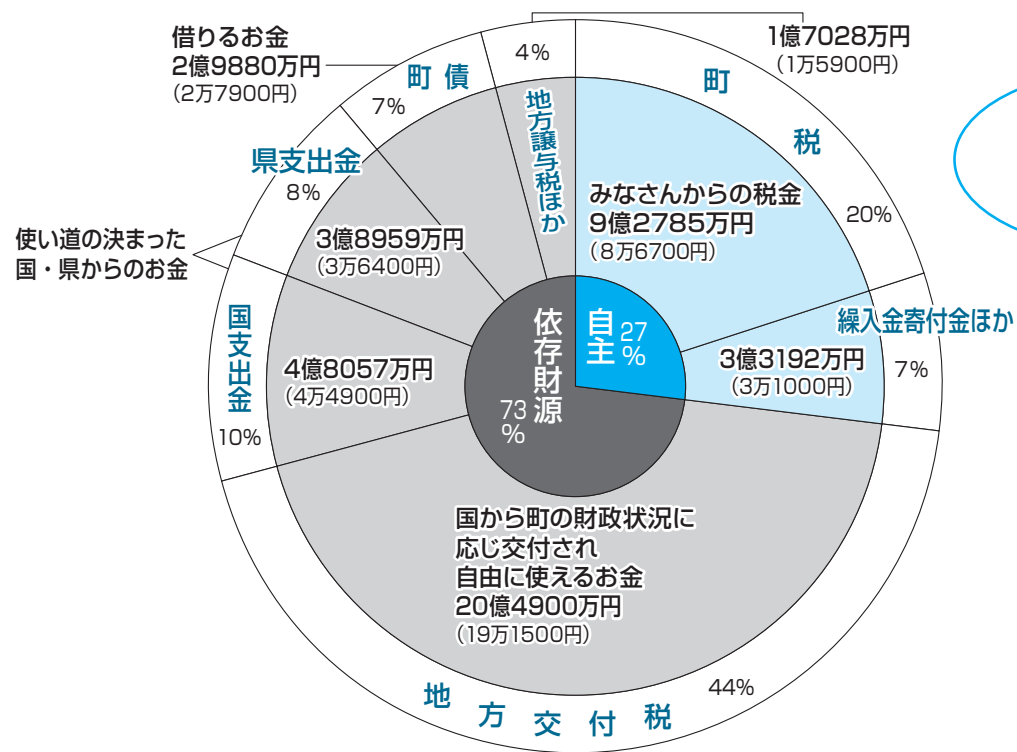
そして、町民と行政が協働し「暮らしの場」としての質の向上「堅実な行財政運営の確立」を念頭に経費削減と効率化に努めてまいります。

一般会計は 46億4,800万円でスタート



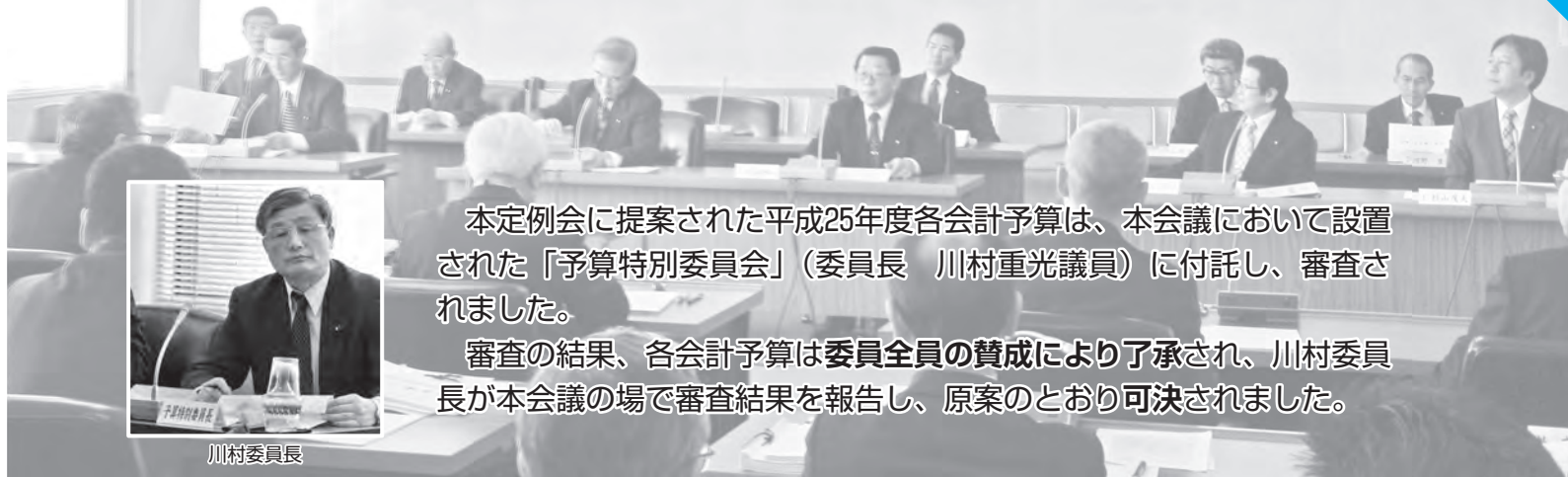
歳出
どのように使うのか?

金額は千の位で四捨五入してあり、合計に合わせて一部端数調整しています。
() 内の数字は、人口1万700人で割った町民一人あたりのお金です。



歳入
収入の内訳は?

予算はどう使われる？ 25年度予算を徹底審査



本定例会に提案された平成25年度各会計予算は、本会議において設置された「予算特別委員会」（委員長 川村重光議員）に付託し、審査されました。
審査の結果、各会計予算は委員全員の賛成により了承され、川村委員長が本会議の場で審査結果を報告し、原案のとおり可決されました。

川村委員長

【平成25年度 各会計予算額】

会計名	本年度予算額	前年度予算額	前年対比	
一般会計	46億4,800万円	45億2,300万円	+1億2,500万円	+2.8%
国民健康保険事業特別会計	12億9,945万円	12億9,800万円	+145万円	+0.1%
国民健康保険病院事業特別会計	5億9,166万円	6億3,006万円	-3,840万円	-6.1%
下水道事業特別会計	2億9,518万円	3億476万円	-958万円	-3.1%
農業集落排水事業特別会計	1億2,960万円	1億3,005万円	-44万円	-0.3%
介護保険事業特別会計	12億5,469万円	11億9,511万円	+5,957万円	+4.9%
後期高齢者医療特別会計	1億196万円	1億378万円	-181万円	-1.7%
霊園事業特別会計	991万円	977万円	+13万円	+1.4%
合計	83億3,049万円	81億9,456万円	+1億3,593万円	+1.7%

審議内容

一般会計 歳入

問 杉山 茂夫委員
①町税、法人税均等割減の理由は

②保育料収入増の理由は

答 税務課長

①町内の大型工事（上北道路等）終了により工事事務所が廃止になったためです。

問 町民福祉課長

②転入者が増えてきているためです。

問 高坂 茂委員

①道路占用料とは何か

②循環型社会形成推進交付金とは

③24年度子宮頸がん臨時特例交付金があったが、25年度はない。その経緯は

④集落基盤整備事業費委託金の内容は

答 建設下水道課長

①町道路敷地内における電柱、地中埋設管、看板等を設置したときに町へ使用料としていただくもの。

②下水道整備地域以外における浄化槽の整備に対する国からの補助金です。

答 町民福祉課長

③24年度から国の補助金等がなく、交付税として措置されることになりました。今までの分は町単独でこれからも実施していきます。

答 産業課長

④県からの受任事務経費です。歳出に用地補償費・事務費と割り当てされています。

※予算審査の内容を要約してお知らせしています

一般会計 歳出

問 苫米地 繁雄委員

役務費手数料52万5千円増となった理由は

答 会計管理課長

指定金融機関（青い森信用金庫）の事務取扱手数料の増によるものです。

問 下田 敏美委員

地域包括支援センター建設工事は、*一括発注した方が経費が安くなると思うが、分離発注した理由は

答 町民福祉課長

*分離発注することによって、専門性のあるところから工事した方がより良いものが出来ると考えています。

問 下田 敏美委員

建設すると50年は使用する。広く町民の意見も吸いあげてほしいとの意見があった。町長の考えは

答 町長

今後は、町民の声を聴き、相談しながら進めていきたい。



資源ゴミ回収

特別会計

問 国健康保険事業特別会計

問 高坂 茂委員

歳入国庫支出金、療養給付費等負担金、4千7百万円減の理由は

答 税務課長

療養給付費負担金が24年度以降、国の補助基準率が2%減少した関係です。

問 下水道事業特別会計

問 下田 敏美委員

事業導入の話があった場合、受け入れる用意はあるか

答 町長

町にとって必要なものは受け入れるが、不適合と思えるものは国であっても断る。

問 介護保険事業特別会計

問 円子 徳通委員

施設介護サービス給付が3千61万円減の理由は

答 町民福祉課長

施設を利用する人数が減っているためです。

問 霊園事業特別会計

問 河野 豊委員

24年度で何区画売れたのか。また、霊園使用料返還分とは何か

答 建設下水道課長

21年度からスタートし、24年度新規申込が2区画あり、現在26区画使用されています。返還金は、5年以内に返還した場合使用料は返還する要綱になっているためその返還分です。

？
*一括発注
建設・電気・水道工事等それぞれの工程をまとめて業者に発注する方法。
*分離発注
それぞれの工程をそれぞれの専門業者へ発注する方法。



予算審査の様子

ここが聞きたい!

一般質問

3名の議員が町政を問う

議会の活性化を目的に、一般質問に「一問一答方式」を導入！
一問一答方式とは、一問ごとに議員が質問しそれに対する答えが出ているので、質問と答弁の内容がわかりやすくなります。



しもだ とし み 敏 議員

一括方式

上北道路開通

金矢工業団地へ 企業誘致を

町長 | 優遇制度で支援

問 3月で上北道路が開通し、県とタイアップして金矢工業団地へ雇用確保のために企業誘致を強力に推進すべきと思う。考えは

町長 金矢工業団地は、74・3分のうち利用率は19・6%であり、交通アクセス網の未確立や分譲価格の高さなどで複数の問題を抱えている。

県は上北道路のインターチェンジが金矢工業団地付近に開設することでアクセス環境が改善されると想定し、分譲促進策として優遇制度と様々な優位性を積極

的に情報発信し、企業立地が促進されるよう誘致活動に鋭意取り組んでいると承知している。

町としても道路の開通により、既存企業の経営の安定化が図られることを期待し、若者の雇用の場が確保されるよう要望したい。

問 企業誘致の問題点は排水。県と共同の下水処理施設を建設すべきと思う。考えは

町長 県は、これまでに金矢工業団地の排水を小松ヶ丘

定例会2日目に3人の議員により一般質問が行われました。その質問内容を要約してお知らせします。

災害対策

避難標識を 早急に設置すべき

町長 | 設置の方向で検討

問 町では災害に対処する避難場所を指定した防災マップを配布しているが、防災意識を喚起するためにも早急に指定した避難場所に標識設置が必要と思う。考えは

町長 大震災以降、災害に備える重要性を認識し、避難所開設時の備蓄食料の購入、指定室内避難所発電機等の整備を図っている。

標識設置については、今後避難施設等への整備計画の検討と共に、補助事業制度の活用を念頭に標識設置の方向で検討していきたい。

問 現在20箇所の避難場所を指定しているが、見直しが必要と思う。考えは

町長 六戸町地域防災計画の見直しを行うため、業務委託をしています。県は、国の防災基本計画の修正を踏まえ、地域防災計画の修正をします。町の修正が終わりしだいに町の地域防災計画の見直し作業を進めることにしています。

かかることから、建設できない状況と聞いている。町では、県と共同で下水道処理場の建設は考えていない。

道路改良

旧十鉄踏切あと、 危険個所としての認識は

町長 | 徐行を促す

問 七百・大曲線、旧十鉄踏切の早急な道路改良を求めたい。危険個所としての認識はあるか。

町長 町道七百・大曲線の旧十和田観光電鉄太田踏切付近は、町道と稲生川柳沢橋踏切が交差する箇所となっている。また、若干のS字型に加え、踏切の段差もあり通行には注意が必要な場所と認識している。

問 今後の対応は

町長 建設下水道課長 十鉄などの協議も必要であり、当面、適切な標識で対応したい。

問 第15たての台団地線の早急な道路改良の必要性を感じているが、町長の考えは

町長 整備すべき必要性の道路と認識している。25年度から地方特定道路事業として着手する予定であり、年度内に測量調査設計を行います。

問 配水塔のところから、たての高森線に抜ける細い道路を広くできないか

建設下水道課長 七百・通目木線の整備が完了している。そちらの方を利用していただきたい。



町道七百・大曲線のS字道

一般質問 町政を問う



ゆか かの 河 野 議員

一問一答方式

定住促進新築住宅建設補助金

25年度で終了する 継続する考えは

町長 | 財政状況を見極め判断

問 補助金効果で住宅建設が大変な勢いで進んでいる。26年度以降も継続する考えは

町長 2月までに補助金申請が39件、内転入が28世帯、転入者90人で定住・移住の促進に大いに役立っている。2か年度の実施状況を見たい。来年度以降の財政状況等を見極めて効果があると判断した場合、継続したい。

問 地域の活性化になるよう補助金の20%を町内の商品券にしたらどうか

町長 制度は、タイムリーであることを考えており、住宅を新築するときの建設コストをお手伝いするのが良いのではないかと思う。



定住促進新築住宅建設補助金

定住を目的として新築住宅の建設を行う方に対し、住宅建設費の一部を予算の範囲内で補助します。

- ・住宅建設費の3%で限度額は50万円
- ・若者夫婦（いずれも40歳未満）の場合は10万円を加算



高坂 茂 議員
こう さか しげる

一問一答方式

上十三・十和田湖広域定住自立圏構想

リーダー市は、十和田市と三沢市。

六戸町の立ち位置は

町長ー互いの特色を認め合い、連携協力し合うこと

問 六戸町の立ち位置とアピールポイントは

町長 六戸町は、2市の中間に位置し社会的・経済的につながりが多く、従来どおり互いにプラスとなるよう連携していきます。

問 六戸町のメリットとデメリットは

町長 公共施設・図書館の総合利用、広域観光会議の再編等、お互いにメリットがあつての事業に取り組みま

す。そして、デメリットが生じないよう町政の経営感覚を大事にしていきます。

企画財政課長

本事業実施に対し、国から1千万円の財政措置があります。なお、中心市は4千万円です。

問 本事業の具体的な施策は

企画財政課長 本事業は、平成24年度からのスタートであり、現在、具体的な取り組みま

問 共生ビジョン懇談会の中身は

企画財政課長 圏域全体10市町村22名の委員構成で、六戸町から1人参加しています。具体的に医療、交通、教育等30項目について取り組みます。

問 十和田市、三沢市いわゆる中心市以外との協定はできるのか

企画財政課長 事務局が中心市となつていきますので、圏域の協議のなかでは認められないのでは。

問 本構想の項目以外に例えば人口減に対する取組みとして、広域での婚活イベント等提言できないか

町長 あらゆる面を考慮に入れて、協議テーマを提言できるようにしたい。

学校における体罰

六戸町の体罰の実態は

教育長ー報告は受けていない。体罰はない

問 教育長から見た体罰の捉え方は

教育長 時代が変わるとともに教育・指導法とも変わるものと考えます。この流れからして、体罰はだめ、まづいものとの認識でいます。

問 いじめあるいは体罰に関する学校でのアンケートは

教育長 いじめに関するアンケートは、学期に1回行なつており教育委員会に全部提出されます。体罰に関するアンケート実施については、文科省から実施するように通達があり、児童・保護者・教員に対して実施しています。

問 家庭でのしつけの面で、悪いことをするような場合は、教育上いゆる愛の鞭程度の体罰はあってもいいと考えるが

教育長 具体的には、放課後に教室に残しての指導、学校の当番をちよつと多く当てる、他の子供に支障がある場合に教室の中で自分のところに立たせるとか、何点か体罰に当たらない判例があるので、これを基準に先生にお話ししていきます。

教育長 いかなる場合においても、体罰はいけないと断言しています。絶対です。

問 教室・部活動、同じ体罰でも違いの線引きがあるか

教育長 部活動も学校教育の一環であることから、授業中でも課外活動中も体罰の線引きがないと認識しています。

問 体罰は絶対だから、先生方に何か指導法の指針は

教育長 具体的には、放課後に教室に残しての指導、学校の当番をちよつと多く当てる、他の子供に支障がある場合に教室の中で自分のところに立たせるとか、何点か体罰に当たらない判例があるので、これを基準に先生にお話ししていきます。

3月定例会で決まりました

条例改正 国民健康保険税平均15%引き上げ



医療費の増大等により、平成25年度から、国保税が引き上げられます。
平均的モデルケース
○夫婦・子ども2人の世帯 (給与収入400万円)
年額43万700円 (18%↑)
○単身世帯 (給与収入250万円)
40歳以上介護加算有の場合
年額25万4400円 (18%↑)
○老人世帯 (年金収入250万円)
夫婦ともに65歳以上・介護分なし
年額17万8860円 (14%↑)

地域包括支援センターの建設着手 9,330万円



▲建設予定地

高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるように、介護・福祉・健康・医療などの総合的な支援の拡充を図るため、地域包括支援センターを建設します。

建設場所

町民バスセンター
旧六戸駐在所跡地

587㎡
517㎡

構造

木造一部2階建て

建設面積

- 1. 地域包括支援センター 358・37㎡
- 2. 町民バス待合室 26・50㎡
- 3. 公衆トイレ 33・12㎡

県内最大級 メガソーラーを建設 土地寄附



▶フラワーガーデン跡地

六戸町犬落瀬字坪毛沢の旧フジ製糖青森工場跡地に出力6割の太陽光発電所(メガソーラー)を建設。
事業主・エナジーアンドパートナーズ(株)は、東京鉄鋼より用地47畝を買収し、町に寄附。
六戸町は事業主に対し、メガソーラーを設置する用地約21畝を、最長25年間無償貸与します。
計画は、5月から太陽光パネルなどの設置を開始し、1・5割の発電施設4基を建設。
稼働は、平成25年11月、12月、26年11月、12月と4段階で順次稼働。
6割は一般家庭約2千世帯分の電気を作り出すこととなります。



町議会一般質問傍聴の雑感

佐々木 常久さん (小松ヶ丘)

議会に対する雑感を述べさせてもらえる機会をありがとうございます。

議会を傍聴し又、議会広報を見ましても、一般質問している議員は毎回おなじ顔ぶれにしか見えません。他の議員は質問がまったく無いということでしょうか、それとも質問すら思い当たらないのでしょうか。

聞くところによりますと町長提案は議会で可決しなければ執行できないことになっています。時々に応じた判断が求められます。そのための議員であると思います。そのためには普段から地域の意見を聞き町政に活かしていただきたい。その最たるものが一般質問だと思っています。

どうか議員の皆さんどしどし一般質問してくれることを期待しています。そして町民の代表であることを忘れず、町民の幸せを第一に考え行動されることをお願いしてやみません。



議会広報委員会では、町民の皆様のまちづくりに対するご意見、ご要望の投稿を募集しています。どしどしお寄せください。お待ちしております。

人事案件

■人権擁護委員

高森誠氏と坂本りつ氏が平成25年6月30日任期満了に伴い、下記の方を推薦することに同意しました。

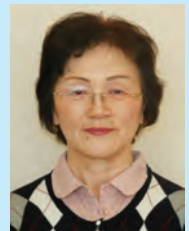
たけしま としお
竹島 敏男 氏
(昭和24年生)

六戸町大字折茂字
畑刈下76番地 2



さかもと
坂本 りつ 氏
(昭和22年生)

六戸町大字犬落瀬字
金矢26番地 4



人権擁護委員は、「人格見識が高く、広く社会の実情に通じ、人権擁護について深い理解のある人」を町長が選任し、議会の同意を得て、法務局に推薦し、法務大臣が委嘱する民間のボランティアです。

六戸町の人権擁護委員は5名で、任期は3年です。

議会を監視するのはあなたです

3月議会傍聴者は11名でした。

議会は町政を知る良い機会ですので、ご覧になり、感想をお聞かせください。

次回の6月定例会の日程及び一般質問内容を、町内12ヶ所に掲示しますのでご覧ください。

詳しくは議会事務局まで ☎ 55 - 4547
または、町ホームページをご覧ください。
<http://www.town.rokunohe.aomori.jp>

後編 編集

寒く厳しい冬の季節から、「春よ、来い」の音頭に乗ってようやく春の訪れを感じる今日この頃です。



卒業式や入学式で、次代を担う子供たちへ精一杯のエールを贈りながら、未来への希望を感じずにはいられません。また3月24日開通した上北道路は、金矢工業団地や小松ヶ丘住宅団地などからの利便性が向上し、災害時や救急救命の際の高規格道路としての活用も期待されております。緑が芽吹き、桜が咲くすばらしいこの季節、私達もまた一歩踏み出す新年度を迎えました。

杉山茂夫

議会広報委員会

委員長 河野 豊
副委員長 杉山 茂夫
委員 高田 輝雄
副委員 附田 茂雄
委員 高坂 敏茂
副委員 下田 敏茂
委員 川村 重光

発行責任者

議長 苦米地 繁雄